



# 議会報告 依田版

自宅 高崎市棟高町1035-2  
TEL 027-373-8317  
控室 高崎市高松町35番地1  
TEL 027-321-5757

## 福祉とくらしを守る市政をめざして

# 9月議会速報

中曽根康弘氏の名誉市民選任

### 党市議団を代表し反対討論

要旨としては、「中曽根氏が、長く国会議員を務め、内閣総理大臣など国政の要職に就いてきたことや本市にも大変縁の深い政治家であることは認める。

しかし、政治家としての功績については、原発導入、臨調行革、憲法改定運動などについてさまざまな見方があり、中曽根氏の功績をたたえるのは、一方的な評価であり、反対する。」というものでした。



3.11 さよなら原発集会 市役所前にて

### 党市議団を代表し反対討論！

高崎市議団を代表し、6議案に反対討論を行いました。（以下要点を掲載します）

#### ○都市集客施設建設基金条例について

この都市集客施設整備事業は規模や概要もはっきりしない中で、事業費の平準化を図るため、基金を創設するというものです。特に、莫大な事業費が市民生活を圧迫することがないのか、不況下で、本当に施設建設が本当に必要なのかなど多くの市民が懸念を持っております。コンベンション施設には多くの失敗例もあります。私たちが、音楽ホールや体育館など市民の望む施設の計画的な建設には同意しますが、はつきりした見通しもないまま過大な計画になるものには同意できません。よって、高崎市都市集客施設建設基金条例に反対するものであります。

#### ○介護保険条例の一部改正について

厚労省が、初めて「財政安定化基金」の取り崩しを認めました。群馬県全体で45億円の基金になっています。全国的にも余剰金のような状況であり、基金の取り崩しを増やせば、引き上げは抑えられます。また、短期入所日数も削減する提案になっていることも併せて、今回の一部改正に反対するものです。

#### ○高崎市一般会計予算について

国が進める地方財政計画を無批判に受け入れ、開発優先で、福祉と暮らしを守る施策が後回しになっていきます。市町村合併協定の事業が合併特例債を頼りに次々に行われている点も問題です。

既存事業の縮小・廃止及び徹底した事業費の縮小方針により、一般行政経費が削減され、福祉や教育など市民サービスの切り捨て進行を懸念するものです。

住環境改善助成制度の継続をはじめ、多くの市民や中小零細の企業にとって利益になる施策は評価しますが、都市集客施設やスマートIC、区画整理事業は、開発優先といわざるをえません。

特に、都市集客施設は、財政を圧迫し、全体の計画もあいまいで反対です。

人件費の圧縮方針のもと、職員数の圧縮、非正規雇用の増加も懸念を持っており、勤労者の生活と雇用を守る立場から一般会計予算に反対の立場であります。

